パーソナリティと個人差

科目ナンバリング　SOP-101
選択　　2単位

敷島　千鶴

1. 授業の概要（ねらい）

私たち人間の心理や行動はなぜ一人ひとり違うのでしょうか。親の育て方の影響でしょうか、友達関係に原因があるのでしょうか、それとももって生まれた遺伝子の違いによるのでしょうか。本授業では人間の個性をパーソナリティ（人格）と感情からアプローチすることを通して、パーソナリティと感情の基礎的な研究方法を習得し、科学的実証研究の知見を古典から最先端まで幅広く理解していきます。とくに、行動遺伝学の方法論を用いた研究を導入することにより、パーソナリティと感情の遺伝にも焦点をあて、人間の多様性を理解するひとつの視座を養うことを目指します。

2. 授業の到達目標

1.パーソナリティの構造を理解することができる。
2.パーソナリティが個人によって異なる理由を説明することができる。
3.感情に関する理論及び感情喚起について説明することができる。
4.感情が行動に及ぼす影響について説明することができる。

3. 成績評価の方法および基準

学期末試験（80%）、課題レポート（20%）によって評価を行います。

4. 教科書・参考文献

教科書

資料をLMSへアップロードします。教科書は指定しません。以下の5冊を参考図書とします。

参考文献

小塩真司著　『はじめて学ぶパーソナリティ心理学―個性をめぐる冒険』　ミネルヴァ書房
鈴木公啓編　『パーソナリティ心理学概論―性格理解への扉』　ナカニシヤ出版
日本心理学会監修　箱田裕司・遠藤利彦編　『本当のかしこさとは何か―感情知性(EI)を育む心理学』　誠信書房
イアン・ディアリ著　繁桝算男訳　『知能』
　岩波書店
リチャード・E・ニスベット著　水谷淳訳　『頭のでき』
　ダイアモンド社

5. 準備学修の内容

指定した論文を読み、わからない箇所は自分で調べてから授業に臨むことを求めます。論文の読み方については授業内で説明します。

6. その他履修上の注意事項

講義中心で進めていきますが、ご自分の感情や、パーソナリティ、認知能力を測定してもらうことがあることをご了承ください。
※ 2018年度以降の入学生には、公認心理師受験資格に必要な科目です。
　2017年度以前の入学生は、心理学科のホームページを参照してください。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス
【第2回】　パーソナリティ心理学の研究の歴史について学ぶ
　「パーソナリティって何？」
【第3回】　パーソナリティの記述―類型論―について学ぶ
　「あなたのパーソナリティは何型？」
【第4回】　パーソナリティの記述―特性論―について学ぶ
　「あなたのパーソナリティはどれぐらい？」
【第5回】　パーソナリティの測定について学ぶ(1)
　「パーソナリティってどうやって測るの？」
【第6回】　パーソナリティの測定について学ぶ(2)
　「パーソナリティテストってどうやって作るの？」
【第7回】　パーソナリティの個人差について学ぶ(1)
　「パーソナリティって親から受け継ぐの？」
【第8回】　パーソナリティの個人差について学ぶ(2)
　「なぜ同じ家に育ったきょうだいでもパーソナリティが違うの？」
【第9回】　認知能力の個人差について学ぶ(1)
　「頭が良いってどういうこと?」
【第10回】　認知能力の個人差について学ぶ(2)
　「認知能力ってどうやって測るの？」
【第11回】　感情の理論について学ぶ
　「感情のしくみってどうなってるの？」
【第12回】　感情的知性について学ぶ
　「本当のかしこさって何？」
【第13回】　感情と進化・文化について学ぶ
　「感情ってどうやって設計されてきたの？」
【第14回】　学期末試験
【第15回】　まとめ